

# 福島フードファンクラブ（FFF）設立等の検討

（福島県避難地域復興局、総務部、観光交流局、農林水産部）

## 1 将来像提言の内容

今後、福島県の農産物を積極的に食べて応援したい人のための組織「福島フードファンクラブ（FFF：Fukushima Food Fan club）（仮称）」の設立や県アンテナショップの活用等、新たな販路開拓等を進める取組を検討すべきである。その際、既存の取組との連携や活用も視野に検討することが重要である。加えて、福島を応援してくれる方々の福島県産品の積極的な購入につながるよう、手に取ってもらいやすい環境を作り出す必要があり、販路の回復・開拓に向けた流通業者・販売店等への積極的な働きかけ等も併せて強化するべきである。

このような取組は、風評被害を防ぐという側面だけでなく、生産者に対する感謝の気持ちを伝えられるという側面もあり、生産者のやりがいや生きがいにもつながる。

## 2 現在の取組及び今後の方向性

### (1) 現在の取組の例（詳細裏面）

ふくしまファンクラブ情報発信強化事業、チャレンジふくしまサミット事業、首都圏情報発信拠点事業、がんばろうふくしま！応援店事業 ほか

### (2) 今後の方向

福島の応援者で構成されているふくしまファンクラブをプラットフォームとしながら、関係機関や既存の取組の連携等により、福島県産品の購入の促進及び販路の拡大を図り、風評払拭につなげていく。

## ○ふくしまファンクラブ情報発信強化事業（観光交流課等）

### 【事業内容】

これまでにファンクラブ会員に対し会報誌の発行及びメール配信により観光情報をはじめイベント情報等の提供を行ってきたが、今後は、これまでの観光中心の情報に加えて、食に関する情報を充実させ、農林水産物の購入など応援行動に繋がる情報を発信する。また、本県に想いを寄せる民間企業・団体等のネットワークにも同じように配信することで、ふくしまを応援するより多くの方へ応援行動に繋がる情報の発信を強化する。県産食材を取り扱う「がんばろうふくしま！応援店」の情報、量販店での県産食材販売情報、「ふくしま応援シェフ」による食に関するイベント開催情報などを提供する。

## ○チャレンジふくしまサミット事業（広報課等）

### 【事業内容】

シンポジウムや交流会を内容とした、チャレンジふくしまサミットを全国6地域（東海、北海道、関西、九州、首都圏、福島）で開催し、本県の現状や復興への取組、農林水産物などの食の魅力や観光の魅力を直接伝え、本県への理解を深め、共感・応援の輪を広げる。

## ○首都圏情報発信拠点事業（県産品振興戦略課等）

### 【事業内容】

首都圏情報発信拠点「日本橋ふくしま館 MIDETTE」を中心に、県産品の安全性と魅力を発信する取組を展開していくとともに、本県の現状と復興への取組を発信し続けることにより、本県に対する理解促進と関心の継続を図る。

## ○がんばろう福島！応援店事業（農産物流通課等）

### 【事業内容】

安全が確認された県農林水産物及び県産農林水産物を原材料とする加工品について、県内外の販売店、飲食店等と連携し、消費者等に対して県産農林水産物の安全性に関する正確な情報発信とPRを広く実施することで、県産農林水産物の風評被害の払拭と購買・消費意欲の向上を図る。